

木育拠点施設整備の検討状況について

滋賀県は平成 29 年(2017 年)3 月に全国の都道府県で初めて「ウッドスタート宣言」を行い、木育イベントの開催や保育施設等への木のおもちゃの貸出により、木に親しむ機会を県内各地で提供してきた。

本県で開催された全国植樹祭を契機に、令和 5 年 4 月に本県の木育の基本的な指針『つなぐ「しが木育」指針』を策定し、いつでも木に触れ合える常設型の施設となる拠点の整備を位置づけた。

今年度より、県立近江富士花緑公園にある既存施設「森林のわくわく学習館」等を改修し木育拠点施設として整備する検討を進めており、現在の検討状況について報告する。



森林のわくわく学習館 現況

1 木育拠点施設の機能

豊かな自然環境を活かした滋賀らしい木育拠点施設

- ・木の空間の中で木のおもちゃと触れ合う、周辺の森ともつながる施設(ハード機能)
- ・県内各地に「しが木育」を発信する拠点(ソフト機能)

2 全体スケジュール

令和 5 年度

◇関係者とのワークショップ開催と先進施設の視察

- ・花緑公園全体を活用する木育拠点の全体構想を取りまとめる
- ・「森林のわくわく学習館」の改修による拠点整備内容とその運営方法

(◇ロームによる公園整備工事 開始 ~R6.12)

令和 6 年度

◇わくわく学習館の改修工事 年度内のオープンを目指す

◇周辺施設の基本(詳細)設計(林業普及センター、ウッドイルーム)

令和 7 年度以降

◇周辺施設の改修工事(林業普及センター、ウッドイルーム)

3 ワークショップの開催状況

県内の木育関係者に加え子育て支援団体や大学生、庁内の関係部局に参加していただき、木育の権威である埼玉大学の浅田茂裕(あさだ しげひろ)教授に進行をお願いし、議論や視察を重ねて、拠点施設の改修図面や拠点として取り組む内容についてまとめてきた。

(1) ワークショップ メンバー

県内の木育指導者、木製品製作者、保育士、子育て支援団体関係者、やまのこ専任指導員、木材業界関係者、大学生、県関係部局担当者など計 17 名

(2) ワークショップ開催状況

開催日		場所	内容
10月25日	第1回WS	わくわく学習館	木育拠点施設の位置づけ・役割 利用者の対象年齢の想定 木育施設で何を伝えるか 設計図面を見て議論
11月6日	第1回視察	岐阜県	森のわくわくの庭養老店 ぎふ木遊館 遊び創造 labo
11月24日	第2回WS	ウッドイールーム	木育施設でどんな行動場面を生み出したいか 設計図面を見て議論
12月5日	第2回視察	香川県、徳島県	讃岐おもちゃ美術館 徳島木のおもちゃ美術館
1月16日	第3回WS	わくわく学習館	施設の具体的デザイン 施設の運営方法、スタッフ 利用料の徴取、ほか

(3) ワークショップの成果

様々な意見を基に図面等を作成

- 改修平面図
- 木育拠点施設の役割や機能を整理
 - 赤ちゃん、子ども、その親・祖父母等が利用できる施設
 - 木育の入り口として、木や森を学び、体験、感じる施設・展示空間（木の空間の中で木のおもちゃで遊び楽しむ）
 - 周囲の関連施設、県内の木育施設、森林とつながる施設
 - 滋賀を象徴するシンボルをイメージできる施設（森、川、里、湖のつながり）
 - 多くの木のおもちゃ、滋賀の作家のものを集める
 - 入館料は有料が望ましい

(4) 今後の検討事項

- ・施設の具体的な運営方法（スタッフ、開館日、時間など）
- ・木のおもちゃ、遊具の選定
- ・施設利用料の設定 など

⇒今後、拠点施設のオープンに向けて、関係者および関係部局と議論を継続する

近江富士花緑公園全体を活用する木育拠点施設整備

子どもから大人までが木にふれて木に親しむことのできる木育の場を提供するため、近江富士公園内の関連施設と連携し、周辺の豊かな自然環境を活かした滋賀らしい木育拠点施設の整備を行う。



木育拠点施設整備推進事業【令和6年度当初】

県立近江富士花緑公園の既存施設を改修して県の木育拠点施設とする

『つなぐ「しが木育」指針』を策定(令和5年4月)

「しが木育」…子どもから大人まであらゆる世代が、木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

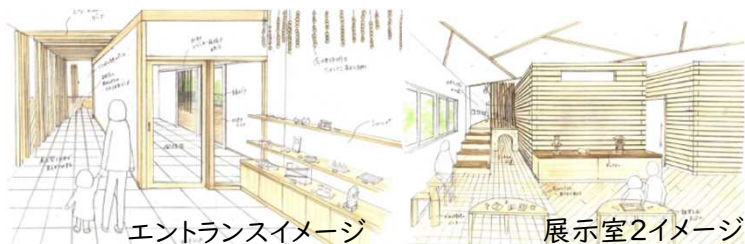
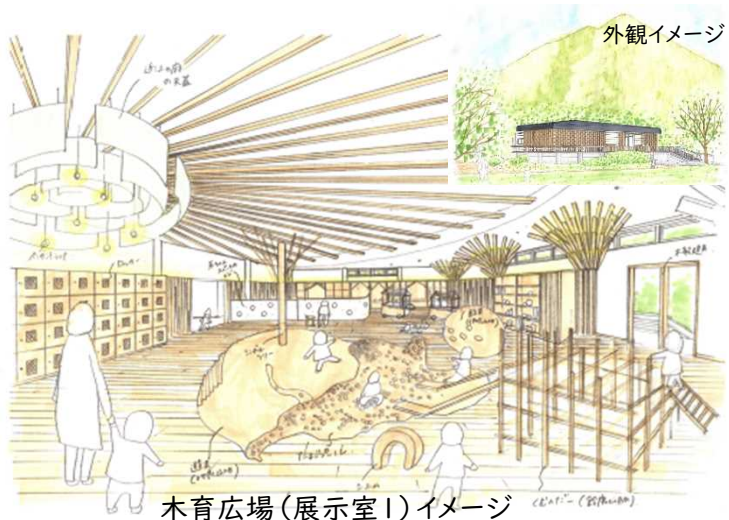
現状

木とふれあうことは木育の入り口であり大切な機会であるが、県内には誰もがいつでも木にふれ親しむことのできる施設が少ない

①森林のわくわく学習館 S48,平屋建,507㎡

→「木育拠点施設」に改修
【R6年度】工事、備品購入

役割:木育広場(乳児/幼児~)/情報コーナー/事務室/倉庫



②林業普及センター S47,2階建,986㎡

→1階一部(192㎡)を「多目的室」に改修
【R6年度】設計

役割:多目的室(木育WS、木育講座、等)
「やまのこ」との連携



③ウッドイールーム S62,平屋建,160㎡

→改修 【R6年度】設計

役割:木工室(小学生~大人 木工体験等)



豊かな自然環境を活かした滋賀らしい木育拠点施設

- ◆ 木の空間の中で木のおもちゃとふれあう、周辺の森ともつながる(ハード機能)
- ◆ 県内各地に「しが木育」を発信する拠点(ソフト機能)

木とふれあうことにより自然とのつながりを学び、豊かな心を育む「しが木育」の推進

拠点から県内全域へ発信

- 木とふれあう機会の創出
木のおもちゃ遊びや木工体験
- 周辺の森も使った学び
- 木育情報の集発信
県内の木育施設、木育活動をつなげる、市町や企業との連携
- 木育の人材育成
木育講座の開催や指導者の育成
- 木育製品の貸出
木とふれあえる機会を県内各地へ
- 木育イベントの企画開催



木工体験



木育講座



木育イベント



木育製品貸出

スケジュール	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
森林のわくわく学習館(木育拠点施設)	検討WS、詳細設計	改修工事、オープン	運用開始	
林業普及センター(多目的利用) ウッドイールーム(木工室)		詳細設計	改修工事	運用開始